

技術・システム検討ワーキンググループ の設置について

平成29年9月13日

環境再生・資源循環局
災害廃棄物対策室

WG設置の目的

- 南海トラフ巨大地震を対象とし、災害廃棄物の処理期間を最大で3年と設定した処理方針を検討
- 災害廃棄物の適切かつ円滑・迅速な処理(広域輸送や仮施設設置を含む)における技術的課題を整理

主な検討事項

【検討事項1】 災害廃棄物の発生量、処理可能量の点検

- 「巨大災害発生時における災害廃棄物対策のグランドデザインについて」(H26.3)中間とりまとめにおいて試算した災害廃棄物発生量及び処理可能量の見直し点検(全国的な建物耐震改修の促進等の効果の考慮、最新の施設情報や統計情報への更新等)及び処理期間の検討
- PRTR届出情報等を基に処理困難物を抽出した上で、産業の集積状況や地形・土地利用等も加味して、南海トラフ巨大地震の発生時における処理困難物等の発生ポテンシャルを推計及び、関係省庁(国土交通省、消防庁等)と連携したシステムの検討
- 平成28年熊本地震における公費解体の検証 等

【検討事項2】 処理困難物、危険物、有害物に対する対応方針の検討

- 農林畜産系廃棄物や食品系廃棄物等の地域特性の検証及び、災害の種類や規模、発生状況等による腐敗等の処理困難性の検証
- 検討事項1で算出した処理困難物等の処理方法の検討
- 自治体による処理困難物対応を少なくするための平時から廃棄物処理システムの構築に向けた課題の整理 等

【検討事項3】 南海トラフ巨大地震を対象とした処理方針の検討

- 検討事項1、2の検討結果を踏まえ、処理フローを策定した上で、広域処理量、仮設処理施設の処理能力を算出し、災害廃棄物の適切かつ円滑・迅速な処理における技術的課題の整理
- 特に技術的課題に関して、受入れ施設の要求品質、運搬手段の確保、時間的制約等について整理